

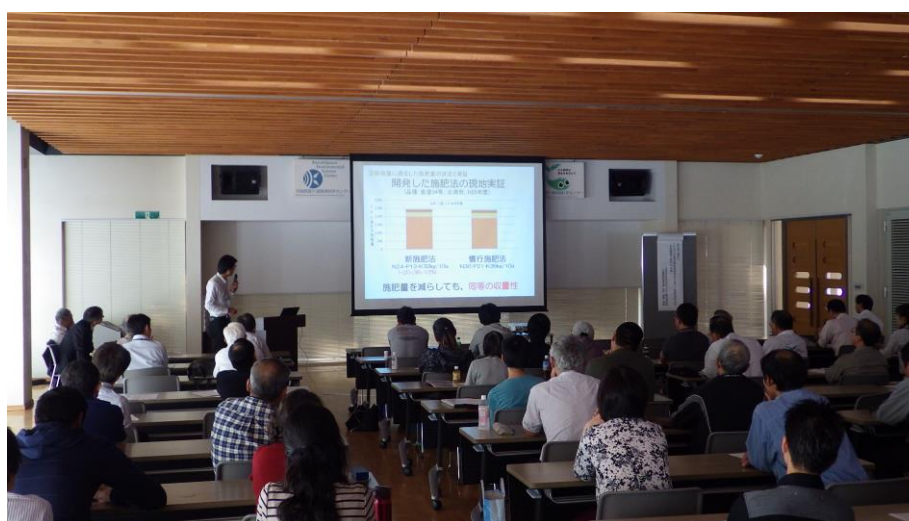
霞ヶ浦環境科学センター公開セミナー「レンコンを霞ヶ浦のシンボルに！」を開催

平成28年10月15日（土）に当センター多目的ホールにおいて、公開セミナー「レンコンを霞ヶ浦のシンボルに！」を開催し、約60名の御参加をいただきました。

最初に、茨城大学農学部黒田久雄教授の「圃場整備前のハス田群からの栄養塩類流出負荷量と水管理による負荷削減効果について」と題する基調講演では、ハス田からの流出負荷を削減するには、水管理や施肥設計等が大事であることが訴えられました。



次に、県の取り組み報告では、県農業総合センター園芸研究所職員によるレンコンの肥料吸収特性に合わせた肥料の開発、当センター職員によるレンコン栽培における負荷削減の調査結果について説明が行われました。



参加者の方からは、肥料施用量の診断法の開発を求める意見や環境負荷を減らす栽培を生産者に周知することを望む意見をいただきました。